

Disclosure

2025年 9月中間期 ディスクロージャー誌

静岡中央銀行の現況



静岡中央銀行

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して



取締役社長 小森 博史
取締役会長 清野 真司

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、業容も着実に拡大しており、これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2025年9月中間期ディスクロージャー誌を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2024年4月より2年間の計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年1月



静岡中央銀行 2026年カレンダー富士山フォトコンテスト
最優秀賞「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝氏 撮影

CONTENTS

ごあいさつ	1	3. 地域の皆さまとともに	
静岡中央銀行のプロフィール	2	創立100周年記念事業の展開	6
1. 経営方針		地域密着型金融の推進	7
経営理念	3	サステナビリティへの取り組み	10
中期経営計画	3	資料編	11
2. 業績ハイライト(単体)			
2025年度 中間決算概要	4		

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

静岡中央銀行のプロフィール
(2025年9月30日現在)

本店所在地	沼津市大手町4丁目76番地
設立	1926年(大正15年)11月12日
資本金	20億円
預金	7,364億円
貸出金	6,330億円
店舗数	43店舗
	(静岡県内 23本支店 3出張所)
	(神奈川県内 14支店 2出張所)
	(東京都内 1支店)
従業員数	449人

経営理念

堅実で健全な経営

当行は、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、地域経済活性化への貢献に努め、地域と共に成長し地域金融機関としての企業価値を高めることにより、お客様・地域社会のベストパートナーとして信頼を得る。



中期経営計画

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

第15次中期経営計画

深化Ⅱ

持続的成長に向けた挑戦

期間/2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念
堅実で健全な経営

目指す銀行像
お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針
お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針
Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

- 1.信頼される行動の実践
- 2.3つのCCの実践
- 3.利便性の高い商品・サービスの提供と課題解決支援の実践

II 営業改革の実践

- 1.訪問頻度管理のステップアップ
- 2.金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
- 3.預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

- 1.生産性向上と効率化に向けた業務改革
- 2.経営資源の最適化とサステナビリティへの取り組み
- 3.店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

- 1.人事制度改革、採用体制の強化と多様化
- 2.挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
- 3.行員ロイヤルティ・働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

- 1.基礎的利益の持続的拡大
- 2.安定的な有価証券収益の確保
- 3.持続的成長の基礎となる経営管理の強化(創立100周年に向けた対応)

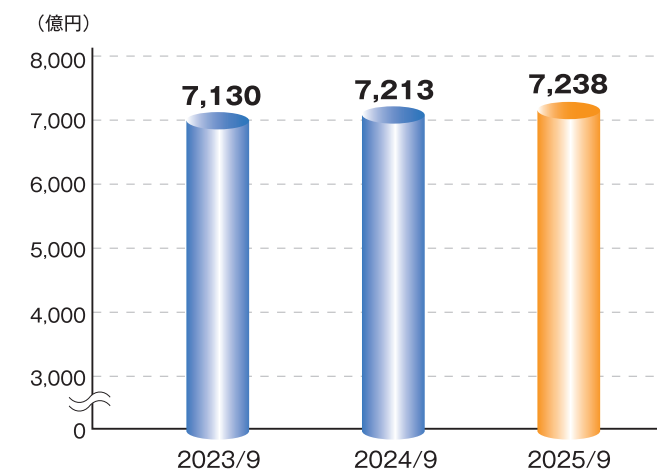
用語解説
「CC」とは？
Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

2025年度 中間期決算概要

■預金残高 (平均残高)

～年間増加率0.3%～

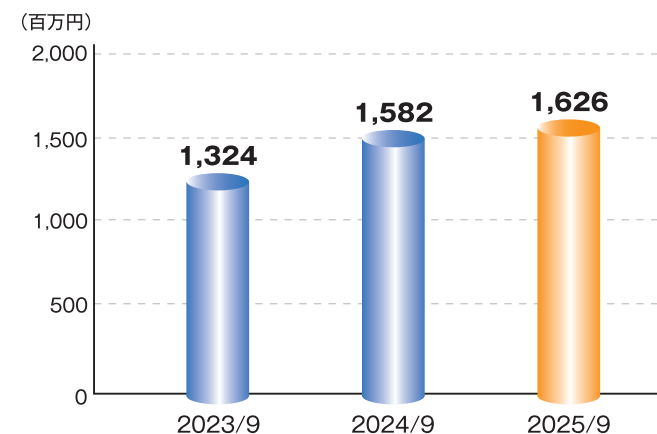
お客様のニーズやライフステージに応じたさまざまな金融商品・サービスの提供に努め、お客様にメインバンクとしてご利用いただくことを目指して積極的な営業活動を展開したこと等により、預金平残は前年同期末比25億円0.3%増加の7,238億円となりました。



■中間純利益

～5年連続の増益～

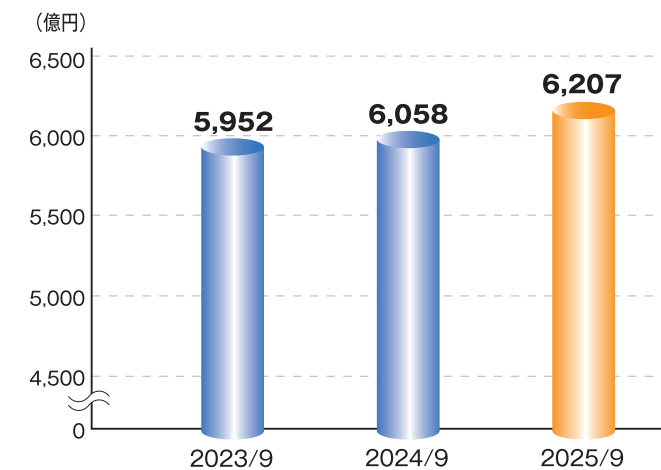
本業が堅調に推移したことにより、中間純利益は前年同期比44百万円2.8%増益の16億26百万円となりました。



■貸出金残高 (平均残高)

～年間増加率2.4%～

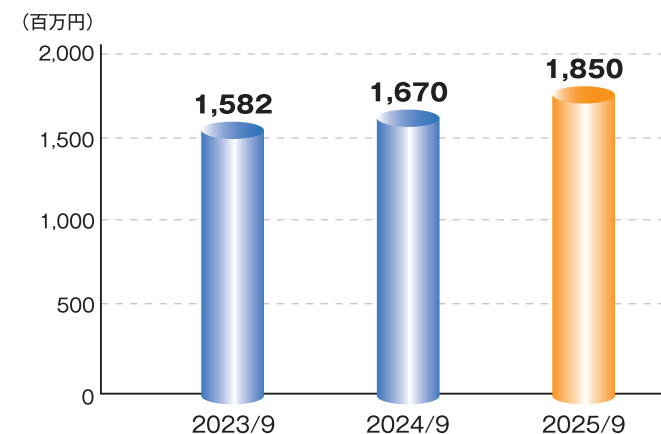
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、資金繰り支援にとどまらず、お客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組んだことにより、貸出金平残は前年同期末比149億円2.4%増加の6,207億円となりました。



■コア業務純益 (除く投資信託解約損益)

～本業利益は着実に増加～

資金利益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は18億50百万円と着実に増加しております。

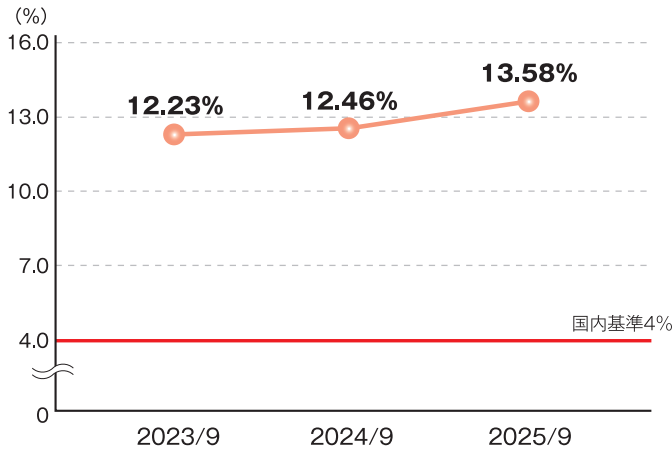


2025年度 中間期決算概要

■自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

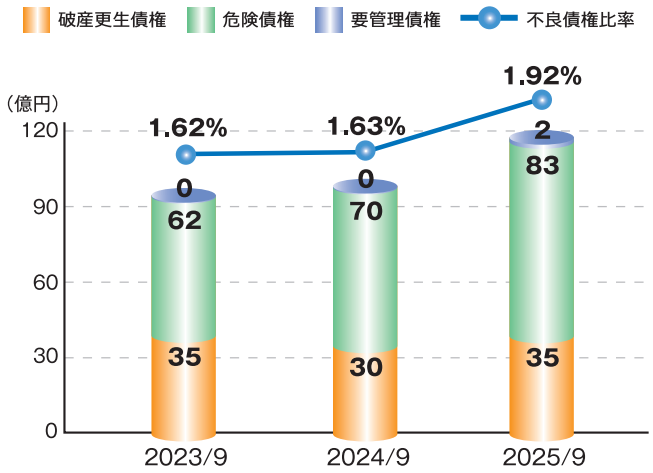
自己資本比率は13.58%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。
※2025年3月末より、バーゼルⅢ最終化を適用しております。



■不良債権の状況

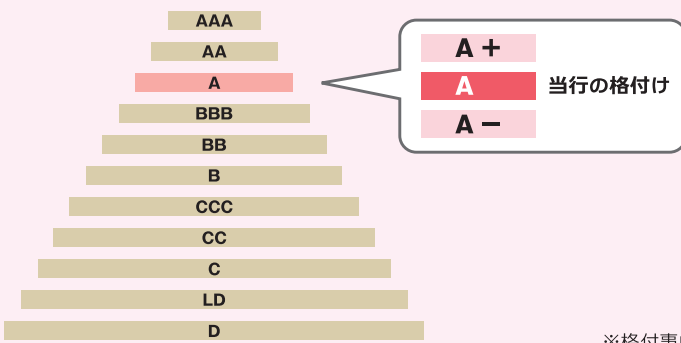
～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は122億13百万円となり、総与信残高に占める割合は1.92%となりました。
なお、同債権の87.7%を担保等でカバーしており、高い健全性を維持しております。



■株式会社日本格付研究所（JCR）の格付取得について

当行は今般、株式会社日本格付研究所（JCR）から、長期発行体格付「A」（シングルA）を取得いたしました。
中立的な第三者機関から客観的な評価を取得することにより、株主、取引先をはじめとしたステークホルダーの皆さまに財務内容の健全性を広くご理解いただくとともに、経営の透明性と対外的な信用力を高め、持続的成長に向けた経営基盤の拡大を図ることを目的としています。



※格付事由等の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所ホームページ (<https://www.jcr.co.jp>) をご参照ください。

- ◇格付の内容
- (1) 長期発行体格付 A（シングルA）
格付の見通し 安定的
 - (2) 格付機関
株式会社日本格付研究所（JCR）
 - (3) 格付公表日
2025年5月9日

創立100周年記念事業の展開

100周年記念ロゴの制定

当行は、2026年11月12日に創立100周年を迎えます。これもひとえにお客様、地域の皆さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまのご支援、ご愛顧の賜物であり、感謝申し上げます。
このたび記念事業のシンボルとして“100周年記念ロゴ”を制定いたしました。ロゴマークは、100年という長い歩みを支えてくださった皆さまへの敬意と感謝、これからも変わらず寄り添い続ける姿勢を表現しております。
役職員一同、これからも皆さまに愛される“しずちゅう”を目指してまいります。



「しずちゅうプレ100周年記念定期預金」販売

当行は、創立100周年を迎えるにあたり、お客様への感謝の気持ちを込めて2025年11月より「しずちゅうプレ100周年記念定期預金」を期間限定で販売しました。
今後ともお客様に寄り添い、ともに成長することで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

- 取扱期間：2025年11月20日～2026年1月15日
※販売総額150億円
販売総額に達したため、販売終了しております。
- 対象：個人のお客様
- 預入期間：1年・3年（自動継続扱い）
- 適用金利：預入期間1年もの…年0.80%（税引後 年0.637%）
預入期間3年もの…年1.00%（税引後 年0.796%）
※特別金利の適用は、初回満期日までとなります。
- 預入金額：10万円～3,000万円以内
※新たな資金でのお預入に限らせていただきます。



本社ビル（本部別館・本店ビル）の建替え

当行は、本社ビルの建替えを創立100周年記念事業の一環として位置付けております。初めに「本部別館」の建替えを行い（2025年8月着工、2027年夏竣工予定）、その後、「本店ビル」の建替え（2030年度竣工予定）を行う計画です。
新本社ビルは、南海トラフ巨大地震等を見据えた耐震安全性を備え、人命安全確保に加えて、本社機能を継続できる体制を確保します。
特徴的なバルコニーを備えた新本社ビルのデザインは、まちの賑わいを発信し、地域のお客様とともに歴史を積み重ね、地域社会の持続的成長に貢献していくことを表しています。

～建物のコンセプト～
創立100周年を迎えて、これからも地域とともに歴史を積み重ねる新本社ビル



新本社ビル イメージ図 左側「本店ビル」、右側「本部別館」

詳細は、当行ウェブサイトをご確認ください。
URL：<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/release/>

地域密着型金融の推進

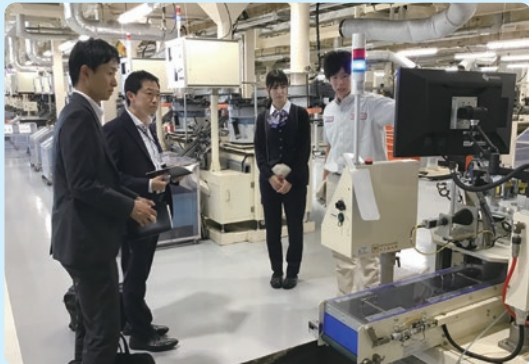
●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取り組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラン

外部専門機関との連携強化
～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2025年度（2025年4月～12月）は新たに6社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2025年12月31日現在 92社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の課題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。

提携分野	① 相続・事業継承・M&A	⑥ リース関連
	② 補助金申請	⑦ システム導入関連
	③ 人材紹介	⑧ 節税関連
	④ 建設・不動産関係	⑨ 企業支援・コンサル関連
	⑤ 販路開拓	⑩ 経費削減関連 他



撮影協力：株式会社イズラン

「しずちゅうビジネススクラブセミナー」開催

2025年11月～12月に「しずちゅうビジネススクラブセミナー」を3会場（沼津市、掛川市、川崎市）で開催いたしました。

本セミナーでは、特別講演として大阪大学特任教授・数中塾グローバル寺子屋主幸 数中三十二氏を迎え「最新の国際情勢と日本の選択」と題し、ご講演いただきました。

「しずちゅうビジネススクラブ」では、会員の皆さまへの各種情報提供、セミナーの開催、会員間の交流等、様々なお手伝いを行っております。

今後も、価値ある情報と経営支援サービスの提供等により、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「お買い物物券付定期預金」による地域貢献

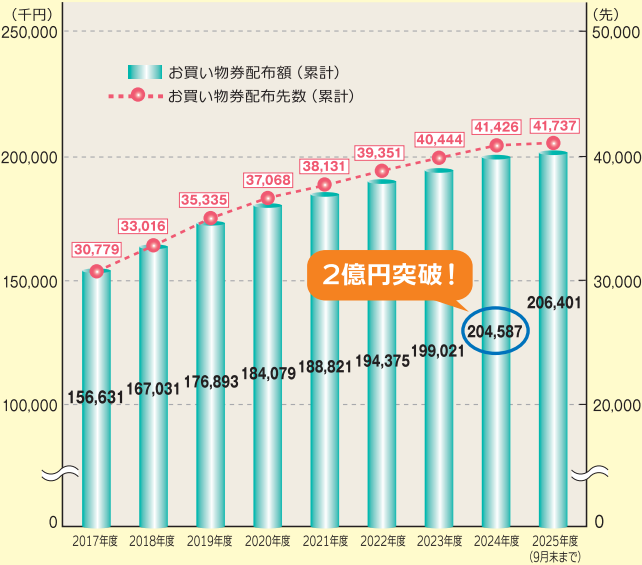
2007年12月より、地域の面的支援として、地元商店街やショッピングセンター等で利用できる「お買い物物券」を預入額に応じてプレゼントする「お買い物物券付定期預金」の販売を開始いたしました。

2025年度（9月末まで）は、計4回（5地区）実施しました。

今後も、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

「お買い物物券付定期預金実績(累計)」（2007年12月～2025年9月）

- 実施回数：211回（21地区）
- お買い物物券配布先数：延4万名
- お買い物物券配布額：約2億円



「しずちゅうNISAキャンペーン」実施中！！

当行では、お客様の資産形成のサポートをするため、「しずちゅうNISAキャンペーン」を実施しております。

キャンペーン期間中に以下コース条件のいずれかを満たした場合に、QUOカード1,000円分をプレゼントいたします。

- キャンペーン期間：2025年10月1日～2026年3月31日
- キャンペーン内容
- コース1 キャンペーン期間中に当行でNISAを利用して2024年1月以降初めて投資信託をご購入いただいたお客様にQUOカード1,000円分をプレゼント
- コース2 キャンペーン期間中に、ご家族やご友人をご紹介していただき、ご紹介された方が新たにNISA口座を開設して、投資信託をご購入（NISAを利用）いただいた場合、ご紹介者様・ご紹介された方にQUOカード1,000円分をプレゼント



「年金定期バースデー1000」好評販売中

当行では、2024年10月より、地域のシニア世代を応援するため、当行で公的年金をお受け取りのお客様向けに店頭表示金利に0.3%上乗せした「年金定期バースデー1000」を販売しております。

今後も、安定した資金運用手段の提供により、地域のお客様のライフプランをサポートいたします。

「年金定期バースデー1000」の枠がいっぱいになったお客様には、店頭表示金利に0.2%上乗せした「バースデープラス定期預金」がおすすめです。



地域密着型金融の推進

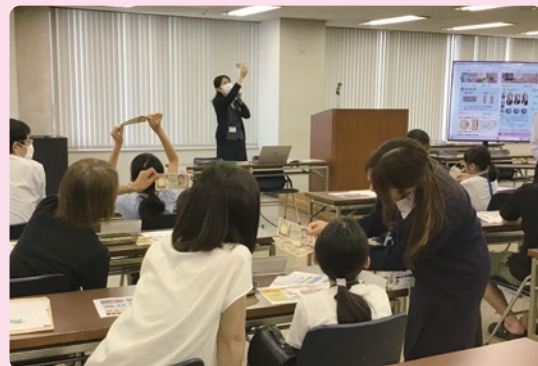
●地域に根差した地域貢献活動の取組み

「しずちゅうミニ銀行員体験講座」開催

当行では、職業体験を通して、地域の仕事を知ってもらい、将来地元で働く選択肢の一つとなるように「銀行の仕事ってなに？しずちゅうミニ銀行員体験講座」を、静岡県東部地域局が主催する小学生職場体験講座に賛同し開催いたしました。

「お金」の基本的な知識や銀行の仕事内容を紹介し、体験講座では「ミニ銀行員」として、実際に端末を操作し通帳に入金するなど銀行員の仕事を体験していただきました。

今後も、金融経済教育に積極的に取組み、豊かな地域社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しております。

2025年6月には、「第13回」大会を開催いたしました。本大会では、静岡県内の小学生軟式野球チーム約220チームのうち、各地域の予選を勝ち抜いた32チームが参加し、3日間にわたってトーナメント方式で競った結果、「富士根南エコーズ」（富士宮）が初優勝を果たしました。

今後も、学童の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献してまいります。



第13回大会優勝チーム 富士根南エコーズ

●“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、最優秀賞作品を当行カレンダーに採用しております。

【最優秀賞】

作品名「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝 様

※受賞作品は当行ホームページにてご覧いただけます。

当行のホームページのトップページにある富士山ギャラリーのバナー、もしくはQRコードからご覧ください。

「富士山ギャラリー」



サステナビリティへの取組み

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取組んでまいります。



【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への取組み

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実に努めてまいります。

■CO2 排出量削減

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目 標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% 2035年度までに2013年度比▲60% 2040年度までに2013年度比▲73% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現
実 績	2024年度実績 2013年度比▲28.7%

※1 Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用
Scope2：（間接排出）電気の使用

■サステナブル関連投融資

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円
実 績	2023年度から2024年度までの実績 228億円（2024年度実績：99億円）

環境負荷低減に配慮した本社ビルの建替え計画

当行では、本社ビル2棟（静岡県沼津市）の建替えを計画しております。（6ページ参照）

新本社ビルは、持続可能な社会の実現・環境負荷低減に積極的に貢献することを目的とした建物計画としており、積極的に木材を有効利用することで、低炭素社会、循環型社会形成の実現に寄与します。

※「ZEB Ready」および「CASBEE 静岡Sランク」取得見込み



沼津駅方面から見た新本社ビル イメージ図

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の
写真

2026年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝氏 撮影

桜と富士山の競演、春爛漫。大人しい構図ながら、咲き誇る桜に
囲まれ、どっしりと落ち着いた中央の霊峰富士。一年を通して
観ていても飽きがこない日本情緒豊かな力作です。

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2026年1月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL. 055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>